

～13人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 平方 嗣世 議員

- 蘇活力について
 - 1 マイスターについて
 - 2 眠れる資源の把握は
- 人口減少対策について
 - 1 「防災・危機管理体制
 - 2 子育て支援・定住対策

P 7 星野 安久 議員

- 道路整備と維持管理体制
 - 1 道路の維持管理体制
 - 2 (仮称)北橋運動場アクセス道路の拡幅を
 - 3 吉岡バイパスの延伸計画
 - 4 大雪に備えた除雪体制

P 8 山崎 正男 議員

- 少子高齢化に対して渋川市の計画は

P 9 山崎 雄平 議員

- 白井城址について

P 10 丸山 正三 議員

- (仮称)北橋運動場整備工事について

P 11 南雲 鋭一 議員

- 来年度予算事業に向けて

P 12 安力川 信之 議員

- まち・ひと・しごと創生と渋川市の戦略
 - 1 まち：渋川駅周辺のにぎわい創出
 - 2 ひと：価値を創る教育
 - 3 しごと：創業支援

P 6 須田 勝 議員

- やすらぎとふれあい(生活編)
 - 1 私道の市道認定について
 - 2 高齢者の居場所づくりについて

P 7 細谷 浩 議員

- これからの渋川市について
 - 1 生活環境整備
 - 2 高齢者支援の充実

P 8 池田 祐輔 議員

- 災害時の対応と防災・減災対策
- 本市の企業誘致施策

P 9 山内 崇仁 議員

- 安心、安全なまちづくりについて
 - 1 災害時の情報収集と情報発信
 - 2 除雪対応
- 渋川市民ゴルフ場の今後について
 - 1 管理の方法
 - 2 跡地の利活用
- 教育の充実について
 - 1 ICT教育
 - 2 放課後の充実
 - 3 学校・家庭・地域の三者連携推進事業

P 10 田邊 寛治 議員

- 渋川市を取り巻く教育環境と現状について
- 国が目指すグローバル的英語化に対する市の考え方

P 11 加藤 幸子 議員

- 中学生の職場体験について
- 渋川市美術館について
- 高齢者の足確保について

一般質問の詳しい内容は会議録をご覧ください。
渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会
ホームページ

会議録検索
システム

一般質問



蘇活力・子育て支援

平方 嗣世 議員

質問 物故者である歴史的偉人や、文化芸術の一線で頑張っている名匠を「眠れる人材」と位置づけるのはいかがなものか。蘇活力から人材を外し、別の方面から支援するべきである。

市長 偉人については、もっと広く市民に知ってもらおうことで顕彰し、現役で活躍されている方は、地域づくりにご協力いただく仕組みを考えているところです。

質問 小野子住宅団地と木の間温泉は市がつくった「眠れる資源」。生き返らせるのか、市長の決断は。

市長 小野子住宅団地は造成費用等を考慮すると、分譲価格が市場価格を上回るため着手できません。温泉は復旧費に相当な費用が必要です。残念ですが、市内の他の温泉施設を是非使っていただきたい。

質問 学校給食費段階的完全無料化への取り組み、市内在住者を含めた住宅建築補助事業の見直し等、来年度予算にどう反映させるか。

教育部長 給食費の無料化は、財政面で大きな負担になるため、引



小野子住宅団地予定地

き続き財源調整の検討をします。
建設部長 市内在住者への住宅新築補助は、多額の財源が必要となるため、国や県の交付金等の活用も含めて検討していきます。

質問 市長・副市長同席で会議・宴席を共にしている。平時における危機管理が甘い。地方自治法第152条の適用のない危機管理はどうなっているのか。

副市長 会議や懇談会の内容を精査した上で、市長と副市長が同席する場合は、危機管理体制に支障のないよう体制を整えています。



やすらぎとふれあい（生活編）

須田 勝 議員

私道の市道認定について

質問 地権者が知らないうちに、了解なしで市道認定された私道の固定資産税の対応と修復工事は地権者の要望があれば対処するか。

総務部長 認定された私道は、利用状況や一定の条件を満たした場合には非課税として扱います。

建設部長 市道認定された道路の修復工事は、要望の有無にかかわらず必要に応じて行っています。

質問 市道認定した根拠は、道路延長を延ばす、長くすることで交付税の増額を意図したものでないのか。国に対しても違法では。

建設部長 市道認定は、公共性が認められる道路について議会の議決を経て行っており、交付税の増額を意図したものではありません。

質問 平成28年6月から開始した介護予防活動促進事業、活動運営費補助を頂いているが、行事保険の支払い等、苦しい運営実態です。サロン運営補助費増額の見直しを。

保健福祉部長 高齢者の居場所づくりは、市民のご理解ご協力なくしては実施不可能です。社協のサロン助成（活動費及び保険料の助成）をあわせて活用してください。



閉校後の校舎の一部を高齢者サロンに